

地球深部探査船

「ちきゅう」の挑戦

参加無料
申込不要

平成31年1月22日（火）16:10～17:40

山口大学 常盤キャンパス D12 講義室



JAMSTECが所有する地球深部探査船「ちきゅう」は2005年に建造完了後、現在、運用13年目を迎えています。その仕様は総トン数5万7千トン、5万馬力の世界最大の科学掘削船です。「ちきゅう」は、水深2,500mから海底下7,000m（ドリルパイプ全長約10,000m）まで掘削する能力があり、船上から懸垂し掘削するドリルパイプの重量は8,000mの長さでは500トンにもなります。この能力を携え「ちきゅう」は、日本が世界をリードするIODP（国際深海科学掘削計画）の中心探査船として、巨大地震発生メカニズムの解明、生命の起源等について、世界約30か国の研究者が乗船し世界第一級の成果を達成しています。また、日本周辺に眠る海底資源の把握にも努めており沖縄熱水噴出域でのレアアース調査、南海トラフでのメタンハイドレート調査にも携わっております。

「ちきゅう」次期10年の最大ターゲットは、人類未踏のマントルへの到達です、本講演ではプロジェクトの概要、関係する山口大学の方々、遭遇した数多くの困難と挑戦とともに、その中で、工学博士・エンジニアの活躍機会についても、ご紹介します。

また、昨年後半、JICA技術者として、ケニア国地熱掘削への技術支援を行ってきたので、その概要についても、ご紹介します。

学生の皆さんと、夢に向かって走る技術者たちの姿を共有できれば嬉しいことです。

講師 小林照明氏 (株) ベッツ 技術顧問

元 (国研) 海洋研究開発機構 (JAMSTEC)
地球深部探査センター (CDEX) 副センター長

1952年 (S27年) 長崎市生まれ。1976年 (S51年) 山口大学資源工学科卒業・石油資源開発 (株) 入社。国内・海外のジャングル・砂漠での石油ガス陸上掘削及び香港沖・新潟沖・豪州沖 海洋での掘削監督、陸上事務所のオペレーションズマネージャー勤務を経て、2001年 JAMSTECへ出向。「ちきゅう」の建造、運用管理の責任者として日本が世界をリードする「ちきゅう」プロジェクトにおいて中心的役割を果たし、産・官・学のとめ役としても活躍。2010年 JAMSTECへ移籍しCDEX 副センター長を経て、2018年3月 定年退職。2018年6月から現職。

(右写真：前列中央)



未来を拓く地方協奏プラットフォーム
HIRAKU
Home for Innovative Researchers and Academic Knowledge Users

<お問い合わせ先>

山口大学 大学研究推進機構URA室 コンソーシアム事業担当
(083)933-5255 conso@yamaguchi-u.ac.jp